

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 17 億円 (内用地補償費約 10億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (国) 176号	三田市三輪～八景		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
三田市八景～三輪				平成 16 年度	平成 20 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・ ”つくる”から”つかう”の観点から交通量の多い当該道路空間を見直して既設歩道を拡幅するとともに、波打ち歩道を解消する ”歩道のリニューアル”により交通事故削減を図る。 ・ あわせて、三輪交差点(渋滞交差点)東側の右折車線の延伸を図る ”交差点改良”により、交通安全対策を推進する。			歩道整備(両側) L = 2, 8 0 0 m W = 2.0 ~ 3.0 m (2.5 ~ 3.5) m 右折車線 約 65 m(三輪交差点東側) < 現況 > W = 0 ~ 2.5 m(1.5 mの区間が大半) 右折車線 約 18 m(三輪交差点東側)		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 14,792 台/日、歩行者 221 人/日、自転車 181 台/日) ・ 過去 5 年間に自転車、歩行者の交通事故(39 件)が多発している。 ・ 死傷事故率(245 人/億台 km) ・ 市街化区域内で沿道には三輪幼稚園(約 50m)、三輪小学校(約 80m)があり、人家が連坦し郊外型スーパー等の商業施設があることから多様な通行状況であるが、現況の歩道幅員は狭く、歩行者や自転車が輻輳している。 ・ 三輪小学校、八景中学校の通学路に指定されている。 ・ 住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道拡幅の必要性が指摘された。 ・ 「福祉のまちづくり重点地区(三田北・南地区)」内における事業である。 ・ 三輪交差点(渋滞交差点)は右折車線が短いために、朝夕の渋滞が著しく、また交差点付近の歩道は狭く危険である。 ・ 連続性の確保(前後の整備状況・・・起終点とも整備済み)。 ・ 波打ち歩道である既設歩道(1.5m)を、路肩の一部を活用して拡幅し、合わせてセミフラット型に変更し、バリアフリー化を行う。 ・ 平成 15 年度から都市計画道路高次線道路改良工事に着手されており当事業と調整しながら事業の推進に努める。 			
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者・自転車の安全が確保されるとともに、交通の円滑化による渋滞解消が図られる等、投資効果が期待できる。 ・ 円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 透水性舗装(歩道部)の採用により、雨水の地中への還元が図れる。 			
(4)優先性		当該箇所は、「福祉のまちづくり重点地区」内にあり、小学校、中学校の通学路に指定されている。また、沿道には人家・商業施設が連続しており、多様な通行状況で歩行者、自転車の交通量も多く、既設歩道が狭い(幅員 1.5 m)ことから、事故が多発している。 また、三輪交差点は、朝夕の渋滞が著しい状況である。 歩行者、自転車の安全な通行と交差点の渋滞解消を図るために、早急に歩道の拡幅、波打ち歩道の解消及び三輪交差点の右折車線延伸を実施する必要がある。			

